



2026. 1. 1

第 100 号



1. 新年のご挨拶



① 会長 吉野琢也

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、年初の第二次トランプ政権から始まり、関税問題やコメ不足、大阪・関西万博や高市新政権の話題で持ち切りだったように思います。トランプ政権では、矢継ぎ早に繰り出す様々な政策が米国のみならず世界にも波紋を広げる結果となりました。日本で 10 月に組閣された高市内閣も同様に過去に触れられなかった問題に果敢に挑戦しているようにも見受けられて、今後の政治経済の変化に目が離せないように思います。

さて国際交流としての観点で、世の中を揺るがせたニュースを眺めてみると、IT 大手のメタ（元 Facebook）が「多様性に配慮した採用を中止」という話題があり、それに続いて同様に米国大手企業が多様性からの撤退や取り組みの縮小を進めているとのニュースがあります。そもそも DEI（Diversity: 多様性, Equity: 公平性, Inclusion: 包摂性）と言われてきた世界の潮流はどう変わっていくのでしょうか。

この分野では世界的に著名な何人かの社会学者による著作（※）がありますが、そこでも国際社会の中で日本という国は特別な慣習や国民性を持つことが共通認識となっています。卑近な例を挙げるとすれば「おもてなし」や「気配り」、「落とした財布が返ってくる」、「空気を読む」、「調和を重んずる（和を以て貴しとなす）」という日本ならではの長所です。

この世界的にみるとユニークで、利他的な日本の文化とそういった環境下で生きている私たち自身が国際社会の変化をリードして、より良い社会を創っていくことが、より一層求められている時代になってきたように思います。

国際交流協会は 1994 年 12 月の発会から 30 年を超えて 31 年目となりますが、そんな今年の干支は丙午（ひのえうま）です。激しい変化が起きる年のようなので、それぞれの催しで会員の皆さんとも深く繋がって、コミュニケーションしながら、是非とも良い変化に変えていきたいと考えております。

本年も、よろしくお願い申し上げます。

※）異文化共生・異文化知性に関する著書

- ・異文化理解力（エリン・メイヤー）
- ・多文化世界（ヘルト・ホフステード）
- ・異文化コミュニケーション・トレーニング（山本志都、ミルトン・ベネット他）

② 事務局長 金津 努

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、最近では世界的に不穏な空気が漂っております。平和な日本国民とはいえ、注視していく必要を感じております。しかし、わが毎日は毎年同じように、しかも、スピードを上げて過ぎ去っていきます。何とか変化をとということで、最近では次の 3 つを意識して行動しています。「折り紙・工作」「自然（はな・木の実）」「復活」、少しだらだらになりますが…

○折り紙・工作

昨年の2月以降、ボケ防止ではありませんが、折り紙（くす玉）に凝っております。ついでに捨てることもつたいない割り箸と組み合わせて工作を。どれくらいできるかを突き詰めて、最小のくす玉は直径 1.5cm となりました。手先の動きは洗練されてきましたが、目と首に支障をきたし、そして肩こりが発生。ほどほどにしないとと思いながらも継続中。



○自然（花・木の実）

昨年の春から、何故か、花を見ると写真に収めるようになりました。これも携帯が便利になったためです。これまで無意識でいたものが、時季を違えて咲く花に目が行き、綺麗だなと思うようになりました。花ではありませんが、銀杏の木の黄色はすごく綺麗で、葉が落ちて黄色い絨毯の上を歩くのは気持ちがいいです。

歩いていて、狛江一中の横の歩道でドングリがたくさん落ちているのを見つけました。長年触ったこともありませんでした。つやつやしていてかわいいので拾ってきて、何かできないかと。思いついたのが観覧車。ドングリを観覧箱に見立てて、爪楊枝と割り箸を使って工作です。輪ゴムを使って回るようにしました。これもボケ防止になるのではないかと思います。



○復活

昨年 1 月の多摩川ロードレースを機として、また、マラソンレースに出ることを思い立ちました。膝、腰に支障をきたして走ることから遠ざかっていましたが、回復してきたので1週間に1回 8km ほどのランニングを開始し、秋くらいにハーフを走ろうと、ある大会にエントリーしました。8月に、どうせ当たらないと東京マラソンにも応募しました。

が、なんと 12 年ぶりに当選したのです。それで、9月から意気軒高で頑張ろうと思ったとたんに、アキレス腱を痛めてしまいました。アキレス腱の不安を抱きながらでしたが、ハーフマラソンは完走出来ました。そして今、最後の東京マラソン（もう当選することはない）に向けて、脚つくり励んでいます。

皆様、今年も健康で過ごしましょう。今年の KIFA の活動に元気にご参加ください。

③ 理事 浅野 利治

私は毎朝、老犬と共に子どもたちの登校を見守ることを日課としております。昨年は、亀の産卵に立ち会ったり、庭に野鳥が遊びに来てくれたりと、自然の豊かさを身近に感じる一年でした。



地域に目を向ければ、近隣のラグビーチームに所属する外国籍のご家族も増え、子どもたちが元気に挨拶を交わしてくれます。木曜日なのに、つい「また来週ね！」と気が早い挨拶をして突っ込まれるような、そんな何気ない交流が私の元気の源です。

一方で、現在進められている野川の護岸工事がおこなわれています。多文化共生の土台には、誰もが安心して暮らせる「地域の安全」があることを改めて実感しています。



災害への備えが進む中、私たち KIFA も、言葉や文化の壁を越えて助け合えるネットワークをさらに強固にしていきたいと考えております。

私自身、友人からの勧めで英語学習アプリ「Duolingo」を始めましたが、なかなか長続きせず苦戦する日々です（笑）。完璧な言葉よりも、まずは「挨拶」から始まる心の通い合いを大切に、本年も皆様と共に歩んでまいります。

本年も、皆様にとって笑顔の絶えない一年となりますよう、よろしくお願い申し上げます。

④ 理事 塩飽 克博

外国人にとって狛江市は、安全？

私は、狛江市で2度の床上浸水を経験しました。狛江市は、野川と多摩川に挟まれており、災害が発生した過去があります。

阪神淡路大震災の時、日本人の死傷者は、日本人の住民の1%ですが、外国人は、2%以上という数値がでております。

このように災害時、外国人は、情報を得ることが難しく孤立する可能性があります。

平常時は、問題なく過ごしている外国人でも災害時は、一気に立場が変わっていきます。

国際交流を推進するために安全は欠かせません。

外国人にとって狛江市が住みよい街になるようKIFA活動を続けていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。

⑤ 監事 堀川 康



ボランティア精神

狛江国際交流協会（KIFA）に参加して約7年になります。当初は「こまぐりっしゅ cafe」で英会話を楽しませていただいただけでしたが、3年ほど前から協会の監事を務めさせていただくことになり、さまざまな協会の活動に顔を出すようになりました。また、本活動と並行して、狛江市民大学には6年ほど前から運営委員として参加しており、講演いただく講座の企画・運営を行っています。市民大学は基本的に不定期の土曜日に開催されるため、毎月第一

土曜日の「こまぐりっしゅ cafe」と重なることが多く、参加する機会が半減しています。

今日は、国際交流協会の会長さんをはじめ、理事の皆さんが企画・運営するボランティア活動について紹介させていただきたいと思っております。ボランティア活動には、体を使って腕力を提供するものから、頭を使って企画し、市民の皆さんに様々な活動を提供するタイプまでありますが、狛江国際交流協会は、市内に滞在する海外の方々と交流する様々な活動を企画・運営し、実施しています。

月に1回の理事会において、会長と、3人の理事の方々と、年間を通した様々な企画が検討されます。現在は、定常的な「こまぐりっしゅ cafe」に加えて、新年会、餅つき大会、日本語スピーチ大会、いかだレースへの参加、盆踊り大会、市民まつりへの参加、料理教室、さらに会員相互の交流を図る様々な親睦会を企画・実施しています。理事会では、これらの実施にあたり、常に従前とは異なる内容を真剣に議論し、具体的な準備の手順を定め、役員がその実施を担っています。本業ではなく、ボランティア活動として、知恵を絞り、常に新しい内容の企画を議論し、実施していく皆さんのバイタリティには頭の下がる思いがします。

毎月行われる理事会では、会長のリーダーシップのもと、要領よく議事進行が行われ、ホワイトボードに要点が記載され、写真撮影された後、後日、事務局長作成の議事録が会員に配布されます。会議が1時間を超えることは滅多にありません。その要領の良さは驚くべきもので、会議後は反省会が行われ、課題の継続調整や地元情報の交換が行われます。驚くべきことは理事の皆さんの人脈です。効果的にボランティア活動を行うには豊富な人脈を持つことが、より多くの人々との交流を図ることに欠かせないことのようにです。

課題はこの理事会の役員の人数が少ないことでしょう。もう2～3人いても良いと思われます。ハードルを高くするわけではありませんが、私だとちょっと面倒くさいなと思うことも、現在の理事の皆

さんはどんな些細なことであっても積極的に自ら手をくだして実行していきます。ボランティア精神とはかくあるべきなのでしょう。無給で活動的な、やる気のある方のボランティア参加が期待されます。また、国際交流協会は狛江市内の海外からの滞在者との交流を図ることが目的ですが、海外の方の参加に偏りが見られます。「こまぐりっしゅ cafe」やいかだレースは欧米の方が、盆踊りや料理教室はアジア系の方が多く参加されています。より多くの方の参加が期待されますが、「こまぐりっしゅ cafe」の英会話は、欧米のワーキングホリデーを利用して来日している人にチューターを依存していることもあり、定着率が低いようです。理事の方が海外の人を集め、参加を依頼するのは大変なようです。

狛江国際交流協会は今年度で30周年を迎えることで、今年2月に新年会を兼ねた記念イベントが行われます。熱心なボランティア精神で協会を支えてこられた方々の長年の努力があって、会が長く続けられたことに、敬意を表したいと思います。これからも困難を乗り越え、さらに長く活動が続けられることを祈念したいと思います。私の見ているところは皆さんの活動の一部側面に過ぎないと思いますので、言い足りないところが多々あるかと思いますが、ご容赦いただければと思います。

2. いかだレース & 交流会報告

7月20日（日）に、例年通りの古代カップ いかだレースへ出場しました。今回は漕ぎ手が3人しか参加できず、大変な苦戦を強いられました。なんとかゴールしましたが、67位でした。

交流会では、熱中症を避けるためバーベキューを無しとしましたが、30名近い方に参加していただき、楽しい時間を過ごせました。



(KIFA のいかだ と KIFA チーム)

3. 国際交流サロンの報告

9月27日（土）、西河原公民館2階の料理実習室で、国際交流サロン「バングラデシュ料理を味わおう」を「こまえ にほんごしえん」と共に開催しました。

NPO 法人 ニッポンベンガルフレンズサークルの方に指導をいただき、美味しいビリヤニやチャイを作って楽しみました。40名を超える参加者がありました。



4. 市民まつりへの出店報告

11月16日（日）に市民まつりに出店しました。前回と同じく、お子様向けにダーツゲームとラムネを用意し、一般の方向けには世界のビールとプレッツェル、チーズなどを用意しました。

無事に午後2時には完売することが出来ました。



(毎年、人気のダーツゲーム)

5. 狛江駅前ほこみち交流イベント

報告

11月29日(土)午前11時から3時間ほど、狛江駅前「ほこみち」(歩行者利便増進道路)で交流イベントを開催しました。交流イベントは6月に続く2回目で、市民の皆さんと交流するとともに狛江市国際交流協会(KIFA)とその活動を知っていただく機会でした。

イベントでは看板を立て、様々な国の「こんにちは」と「ありがとう」を掲示し、道ゆく人に星取表のように知っている挨拶に印をつけてもらいました。



この日は寒く、立ち止まってポスターを見ていただく人が少なかったですが、30人ほどの方が立ち止まって印をつけていただきました。中国語や韓国語の挨拶は英語と同じ程度に知られており、ドイツ語、フランス語、イタリア語などの欧州の挨拶も英語の半分程度の認知度がありました。アジア圏ではインドの「ナマステ」は多くの人が知っている挨拶でした。中にはリストにないアフガニスタンやケニアの「こんにちは」を新たに書き込んでいただく人もいました。



今回は外国人との交流を積極的に設けませんでした。今後はほこみちを活用して外国人と交流し、お互いを知る機会になる企画を考え、開催したいです。

(会員 石田 積)

6. 新春餅つき大会のご連絡

新年の1月11日(日)10:30~14:30の時間に、「みんなのむいから民家園事業実行委員会」、「こまえにほんごしえん」と共に餅つき大会を実施します。

古民家の中にある竈(かまど)で炊いたもち米で、次々と作って配布します。参加料は無料ですので、奮ってご参加ください。



7. 創立30周年記念会 & 新年会

去る2025年12月、創立から30年を迎えた国際交流協会ですが、新年会を行うタイミングで記念式典を行うことといたしました。

当日は市長はじめ来賓方々に祝辞をいただく他、国際交流協会の歴史を振り返ったり、狛江高校箏曲部やソプラノ歌手による演奏を予定しています。終了後には参加者による交流会を予定しています。

2月7日(土) 12:00~14:30

西河原公民館 多目的ホール(3階)

次のQRコードから参加登録ください。



(30 周年記念式典への参加申し込み QR コード)

8. 日本語スピーチ大会のお知らせ

こまえみらいテラス（中央公民館）にて、3 月 22 日（日）午後に、外国人を集めての日本語スピーチ大会（第 20 回）を予定しています。詳細が決まりましたら、連絡差し上げます。



(昨年の表彰式の後の記念撮影)

9. こまぐりっしゅ cafe 開催中

こまぐりっしゅ café は開催場所を、西河原公民館 2 階の和室から、こまえみらいテラス（中央公民館）に移して継続実施中です。

次回以降は、こまえみらいテラスにて、以下を予定しています。

1 月 10 日（土）14:30～16:00（多目的室 1）

※2 月は記念式典を行うため休みます。

3 月 7 日（土）14:30～16:00（多目的室 2, 3）



(みらいテラスでの開催の様子影)

10. 会員募集中

国際交流協会では、随時会員を募集しています。お近くに興味をお持ちの方が居られましたら、ご紹介ください。



この日本語の「たより」をお近くの外国人の方にお知らせください

K I F A : komae international friendship association : 狛江市国際交流協会

事務局 : 狛江市役所 企画財政部 政策室 市民協働推進担当

住所 : 東京都狛江市和泉本町 1-1-5 TEL : 03-3430-1164

FAX : 03-3430-6870 E-MAIL : info@komae-kifa.com

記事・イベントの内容その他のお問合わせやご意見は上記にご連絡ください